



子ども議員が 総社の未来を切り開く

子どもの視点で市政に対する要望や意見を出してもらおうと、市内の中学2、3年生17人を子ども議会の議員に任命しました。

任命式は、議場で行われ、市長から子ども議員一人ひとりに任命書が手渡されました。市長は、議場は市の重要なことを決める大切な場所であることを説明した後、「市政や学校のことなど真剣に考え、意見をください。いっしょに総社の未来を切り開いていきましょう」と激励。山中教育長も、「皆さんは日本を支える一員になります。そのときこの経験がきつと役に立ちます。がんばってください」と話しました。

任命式の後、子ども議員は、総社の市政や議会の仕組みなどを市長や市職員から学びました。



議場で行われた子ども議員の任命式

した。今後は、今年8月に開催される予定の子ども議会に向け、一般質問のテーマの絞り込みや質問文を作る作業に入ります。

子ども議会は、模擬議会を体験することで、子どもたちが市政への理解と関心をもち、自分の思ったことや感じたことを発表してもらうために開かれるもの。平成21年度に初めて開催し、今年で2回目。

中学生17人を子ども議員に任命 市政に子どもの目線から提言を

さあ、
はじめよう!

責任感

家族、学級、学校、クラブやチーム。わたしたちは、いろいろな集団のなかにいます。

いろいろな集団のなかで多くの人とかかわり合い、ささえ合いながら毎日をすごしています。

あなたはたった一人でも、みんなのなかでできることがたくさんあります。あなたがしなければならない役割もたくさんあります。家の手伝いや学校の当番、どんなに小さな役割でも、その役割がなければ成り立ちません。

一人ひとりが主役で、かけがえのない存在です。そして、人と人とが、かかわって生活するとき、あたりまえのルールやマナーがあります。みんなが気持ちよく、安全に暮らせるようにするための約束です。社会のルールやマナーを守り、「自分勝手な人」と言われないようにしましょう。自分の役割を考え、責任を果たして、人の役に立つ人でありたいですね。

問い合わせ 学校教育課 ☎92-8358



推進啓発ポスター



自分で考え自分で行動する「自問掃除」をする阿曾小学校の児童。掃除という実践を通し、自分がどうすべきかを考えられる人を育てることがねらいです。一人ひとりが、自分の役割をしっかりと果たしていました。

季節の絵本!

『あめふり』
さとう わきこ さく・え
福音館書店



今日のテーマ 「つゆ」

ずっとずっと雨が降って、今日もお外で遊べない。そんなとき、ばばあちゃんが、空に向かって「雨ふらし、休んでよ」ってさけんだら、「やなこと」の返事にけんかが始まった。さあ、どうなるのかな。

梅雨でも、子どもたちは家のなかでじっとしているのは退屈。親子で楽しく過ごす方法を見つけに図書館に出かけてみてはいかがでしょうか。